

### グローバル・キャリア教育研究アプローチの 検討 (2) : ベトナム国家大学ホーチミン市 人文社会科学大学におけるキャリア意識調査 から

坂本, 旬 / 葛西, 和恵

---

(出版者 / Publisher)

法政大学キャリアデザイン学会

(雑誌名 / Journal or Publication Title)

生涯学習とキャリアデザイン / 生涯学習とキャリアデザイン

(巻 / Volume)

15

(号 / Number)

2

(開始ページ / Start Page)

3

(終了ページ / End Page)

17

(発行年 / Year)

2018-03

(URL)

<https://doi.org/10.15002/00014822>

---

# グローバル・キャリア教育研究アプローチの検討(2)

## ベトナム国家大学ホーチミン市人文社会科学大学における キャリア意識調査から

中央学院大学非常勤講師・尚美学園大学兼任講師 葛西 和恵  
法政大学キャリアデザイン学部教授 坂本 旬

---

### 1. はじめに

本稿は「グローバル・キャリア教育研究アプローチの検討—大連外語大学におけるキャリア意識調査から—」(2016年度『法政大学キャリアデザイン学会紀要—生涯学習とキャリアデザイン』(Vol.14 No.1)の続編である。今回、調査を行ったベトナム国家ホーチミン市人文社会科学大学(以下、人文大と略す)は2010年にキャリアデザイン学部の主導により、法政大学と学術一般協定を締結した。その目的は「キャリア体験学習(ベトナム)」における学生間交流の実施であった。残念ながら、現在では日程上の理由から上記授業における学生間交流は途絶えているが、教員間の研究交流は継続しており、筆者らは毎年人文大でのキャリア教育の特別授業を実施している。本調査も長年にわたる教育研究交流の一つの成果としてみなすことができる。

筆者らは前論文「グローバル・キャリア教育研究アプローチの検討—大連外語大学におけるキャリア意識調査から—」の中で、グローバル・キャリア教育研究を「単なる国内のキャリア研究の国外への応用ではなく、キャリア発達に関わるグローバルな課題をテーマに、国外の研究者との共同を含むグローバルな地域を対象とする」教育研究だと位置付けた。その点で、国内の「グローバ

ル人材育成」研究とは一線を画すものである。

グローバル・キャリア教育研究における「キャリア」とは、筆者らの前論文で示したように「個人の生活の中で、有給と無給双方の仕事を含んだ個人の生涯にわたる仕事の役割と、他の生活の役割との相互作用」であるとするユネスコの「キャリア・カウンセリング・ハンドブック」の定義に基づいている。この視点から、グローバル・キャリア教育研究では、先進国と発展途上国における経済発展の段階とそれに伴うキャリア意識の差異を考慮する必要がある。前論文で引用したハイスロップとシアーズの論文では、学生たちが「未来の労働者として、新しいグローバル経済体制の中で彼らが直面する職業的な不安定さに対応できるよう、受動的な役割を受け入れる」ことを余儀なくされている現実について述べられていた。グローバルな経済体制は、先進国と発展途上国との不平等な関係を包含する。こうした現実にはキャリア教育にも当てはまる。先進国はグローバルな経済競争の中で、賃金の安い発展途上国への工場の進出を推し進めるとともに、それに対応するキャリア教育の普及を進めることになる。

本研究は、アジア各国の大学生のキャリア意識の状況を把握し、各国および地域の経済状況との関係を考察することをめざしている。当面は日本語を学ぶ学生を対象としているが、その多くは日

系企業への就職をめざしている。本調査を通して、人文大日本語学部の学生は、大学進学時も就職活動時とともに就職・職業キャリアへの意識が高く、職業選択については収入を重視する傾向が大きいことがうかがえる。他方で、「世の中のためになる仕事」をしたいと考える学生はほとんどいない。つまり、概して人文大日本語学部学生のキャリア意識は職業中心であり、人生や生きかたへの意識が希薄であることがわかる。

## 2. 人文大日本語学部におけるアンケート調査の概要

### (1) 本調査の先行研究

本調査は、「グローバル・キャリア教育研究アプローチの検討—大連外語大学におけるキャリア意識調査から」<sup>1</sup>をもとにしている。

### (2) 調査の目的および実施時期と対象者

調査目的は国外の大学生のキャリア意識であり、対象者は人文大日本語学部の学生である。年齢は20歳から24歳までであり、平均年齢は20.40歳である。また、調査時期は2016年12月である。

表1 調査対象学生 (単位：人)

学年	男子		女子		性別不明		計	
1年	0		0				0	0.0%
2年	0		0				0	0.0%
3年	5		55		1		61	70.9%
4年	2		23				25	29.1%
合計	7	8.1%	78	90.7%	1	1.2%	86	100.0%

### (3) 調査結果の概要

今回の調査からわかることを以下にまとめる。

- ①奨学金などを得ている学生は5名であり、全体に占める割合は低い。しかし、その内の4名が「返済の必要はない」と回答しており、日本とは状況が異なる。
- ②大学進学に際して重視した理由として、「就職

に有利」「就職に必要な勉強をする」「将来の安定した生活」3項目の合計は、大学入学前が47.5%、現在が62.5%である。また、「家族がすすめるから」進学したと回答した学生は、12.4%である。家族にすすめられ、卒業後の就職を意識して進学したことが窺える。就職希望度として、「なにがなんでも就職したい」と答えた学生は、73.3%である。

③仕事を通して人生を充実させていきたいという思いが垣間見られる。理想とする仕事については、「高い収入が得られる仕事」(1番理想だと思う31.2%、2番目に理想だと思う38.7%)、「専門知識や特技を活かせる仕事」(1番理想だと思う25.9%、2番目に理想だと思う16.0%)、「仲間と楽しく働ける仕事」(1番理想だと思う13.0%、2番目に理想だと思う13.3%)としている。企業選択においても、「給料の良い会社」39.5%、「自分の能力・専門を活かせる会社」25.6%となっている。また、仕事についての考えや希望について、「高い役職につくために、少々の苦労はしてもがんばる」と89.3%が、「仕事を通じて人間関係を広げていきたい」と85.9%が、「仕事を生きがいにしたい」と81.0%が「そう思う」あるいは「ややそう思う」と回答している。

④家庭内における性別役割分担については、おおそ男女平等的な考え方である。「家庭生活において、男性も家事や育児を分担すべきである」と思う人とややそう思う人の合計が73.3%、「収入は主に夫が稼ぐべきである」と思わない人とあまりそう思わない人の合計が50.6%、「女性は結婚したら家庭に入った方がいい」と思わない人とあまりそう思わない人の合計が65.9%である。

⑤世の中に対する考え方については、様々に捉えられているようである。「世の中は、いろいろな面で、今よりもよくなっていくだろう」と67.4%が「そう思う」あるいは「ややそう思う」と回答する一方で、「世の中は、いろいろな面で、今よりも昔のほうがよかった」と51.2%が「そう思う」あるいは「ややそう思う」としている。また、76.7%が「自分はいい時代に生まれたと思う」に「そう思う」あるいは「ややそう思う」と答えて

おり、今を肯定的に捉える傾向が見える。

### 3. 今後の課題

今回の調査は類似の先行調査を参考に、前回行った大連外語大学の調査に続いて行ったものである。今後も同様の調査を他国や日本国内でも実施し、比較検討する必要がある。前回、並びに今回の調査結果についても、より詳細な検討を行う必要がある。

また、今回の調査対象者も前回同様、日本語を学んでいる学生である。そのため、必ずしもベト

ナムの平均的な大学生であるとはいえない。調査結果分析に当たっては、この点についても考慮する必要がある。今後は他学部の学生を対象にした調査も実施すべきだろう。

---

#### 注

- 1 坂本旬 葛西和恵 (2016), 「グローバル・キャリア教育研究アプローチの検討—大連外語大学におけるキャリア意識調査から—」, 生涯学習とキャリアデザイン 2016 年度法政大学キャリアデザイン学会紀要 Vol.14 No.1

## 4. 付録 アンケート調査の内容と結果

①あなたの住まいについてお答えください。

表2 居住先 (単位：人)

自宅	36	42.9%
学生寮・学生会館	21	25.0%
下宿	17	20.2%
アパート	7	8.3%
その他	3	3.6%

(n=84)

②あなたの収入状況についてお答えください。おおよその金額（月額換算）をお知らせください。

表3 収入状況 (単位：ドン)

	平均	最小値	最大値
親からの仕送りなどによる収入	1,708,974	0	4,000,000
アルバイトなどにより自分で得ている収入	618,590	0	4,000,000
奨学金などで得ている収入	168,974	0	5,000,000
その他の収入	44,872	0	2,000,000
全体	2,541,410	300,000	5,000,000

(n=78)

注1. 1円 = 201.02ドン (2018年1月8日の為替レート)

注2. 親からの仕送りを回答した学生は70名、アルバイト等による収入を回答した学生は31名、奨学金による収入を回答した学生は6名、その他の収入を回答した学生は4名である。

③あなたは学費免除・授業料免除の対象になったことはありますか。あてはまるものを1つお知らせください。

表4 学費免除・授業料免除対象 (単位：人)

ある	5	5.8%
免除の申請をしたが通らなかった	8	9.3%
ない	73	84.9%

(n=86)

④ (②で、奨学金などで得ている収入があるとお答えの人に伺います) 卒業後の奨学金の返還予定は、次のどれに近いですか。あてはまるものを1つお知らせください。

表5 奨学金の返済予定 (単位：人)

自分ひとりで返還する予定	0	0.0%
親と半々で返還する予定	0	0.0%
主に親が返還する予定	0	0.0%
まだ決めていない	1	20.0%
返済の必要はない	4	80.0%
その他	0	0.0%

(n=5)

⑤あなたが大学に進学しようと思ったのはなぜですか。入学前にあなたが最も重視した理由を1つお知らせください。また、現在あなたが最も重視しているものも1つお知らせください。

表6 進学理由 (単位：人)

	大学入学前		現在	
	人数	割合	人数	割合
教養や視野の拡大	3	3.7%	5	6.3%
立派な人格形成	0	0.0%	0	0.0%
専門知識、技術の習得	7	8.8%	12	15.0%
学問研究	5	6.3%	0	0.0%
就職に有利	5	6.3%	18	22.5%
就職に必要な勉強をする	16	20.0%	17	21.3%
将来の安定した生活	17	21.3%	15	18.8%
結婚に有利	0	0.0%	0	0.0%
青春を楽しむ	1	1.2%	5	6.3%
課外活動に励む	0	0.0%	2	2.4%
皆が行くから	5	6.3%	0	0.0%
家族がすすめるから	10	12.4%	1	1.2%
高校時代等の先生がすすめるから	4	5.0%	0	0.0%
その他	2	2.4%	2	2.4%
特に理由はない	5	6.3%	3	3.8%

(n=80)

⑥あなたの学生生活は充実していますか。あてはまるものを1つお知らせください。

表7 学生生活に対する充実感 (単位：人)

充実している	23	26.7%
まあまあ充実している	43	50.0%
どちらともいえない	9	10.5%
あまり充実していない	9	10.5%
充実していない	2	2.3%

(n=86)

⑦あなたは大学に入って、単位の出るキャリア教育科目（就職対策や人生設計などに関する授業科目）をどの程度受講しましたか。あてはまるものを1つお知らせください。

表8 キャリア教育科目の受講 (単位：人)

かなり受講した	10	11.6%
まあまあ受講した	24	27.9%
少し受講した	34	39.6%
受講したことがない	18	20.9%

(n=86)

⑧キャリア教育科目の受講は、今のあなたにどの程度影響を及ぼしていますか。あてはまるものを1つお知らせください。

表9 キャリア教育科目の影響 (単位：人)

かなり影響を及ぼしている	12	14.0%
まあまあ影響を及ぼしている	47	54.6%
どちらともいえない	9	10.5%
あまり影響を及ぼしていない	15	17.4%
まったく影響を及ぼしていない	3	3.5%

(n=86)

⑨あなたは大学に入って、キャリアセンターなどが主催する、単位とは無関係のキャリア形成支援（就職対策や人生設計など）のためのセミナーや講座（就職ガイダンスや就職セミナーを含む）をどの程度受講しましたか。あてはまるものを1つお知らせください。

表10 キャリア形成支援セミナー・講座の受講 (単位：人)

かなり受講した	13	15.1%
まあまあ受講した	34	39.5%
少し受講した	32	37.2%
受講したことがない	7	8.2%

(n=86)

⑩そのことは、今のあなたにどの程度影響を及ぼしていますか。あてはまるものを1つお知らせください。

表 11 キャリア形成支援セミナー・講座の影響 (単位：人)

かなり影響を及ぼしている	11	13.1%
まあまあ影響を及ぼしている	38	45.2%
どちらともいえない	8	9.5%
あまり影響を及ぼしていない	23	27.4%
まったく影響を及ぼしていない	4	4.8%

(n=84)

⑪あなたは大学で、就職に関する相談（人生設計に関する相談を含む）を個別にしたことがありますか。あてはまるものを1つお知らせください。

表 12 就職に関する相談 (単位：人)

かなり相談した	5	5.8%
まあまあ相談した	23	26.7%
少し相談した	20	23.3%
相談したことがない	38	44.2%

(n=86)

⑫就職に関する相談をどのような方にしましたか。あてはまるものすべてをお知らせください。(いくつでも)

表 13 就職に関する相談の相手 (単位：人)

先生	35	41.7%
上級生など学生（大学院生を含む）	44	52.4%
事務職員	12	14.3%
キャリアセンターにいる専門スタッフ・カウンセラーなど	15	17.9%
その他	15	17.9%

(n=84)

⑬就職に関する相談をしたことは今のあなたにどの程度影響を及ぼしていますか。あてはまるものを1つお知らせください。

表 14 就職に関する相談の影響 (単位：人)

かなり影響を及ぼしている	19	22.4%
まあまあ影響を及ぼしている	37	43.5%
どちらともいえない	12	14.1%
あまり影響を及ぼしていない	14	16.5%
まったく影響を及ぼしていない	3	3.5%

(n=85)



⑭あなたは就職に備えて、大学で専門の勉強をする以外に、何か資格を持つておくことが必要だと考えていますか。あてはまるものを1つお知らせください。

表 15 資格に対する意識 (単位：人)

とても必要だと思う	49	57.0%
まあまあ必要だと思う	26	30.2%
どちらともいえない	5	5.8%
あまり必要だとは思わない	4	4.7%
まったく必要ない	2	2.3%

(n=86)

⑮あなたはアルバイトをしたことがありますか。

表 16 アルバイトの経験 (単位：人)

ほぼ常に行っている	15	17.4%
必要に応じてしている	11	12.8%
時々している	43	50.0%
したことがない	17	19.8%

(n=86)

⑯あなたはインターンシップに参加したことがありますか。

表 17 インターンシップの経験 (単位：人)

すでに参加したことがある	21	25.0%
現在参加している	13	15.5%
今後参加したい	35	41.7%
考えていない	15	17.8%

(n=84)

⑰あなたには、だいたいの将来設計がありますか。最も近いものを1つお知らせください。

表 18 将来設計 (単位：人)

大いにある	14	16.3%
どちらかと言えばある	32	37.2%
どちらとも言えない	26	30.2%
どちらかと言えない	5	5.8%
まったくない	9	10.5%

(n=86)

⑱あなたのご両親は、あなたの就職や将来のことにに関して、どれくらい関与しますか。あてはまるものを1つお知らせください。

表 19 両親の関与 (単位：人)

非常に関与する	7	8.2%
まあまあ関与する	27	31.4%
どちらとも言えない	16	18.6%
あまり関与しない	26	30.2%
まったく関与しない	10	11.6%

(n=86)

⑲あなたにとってこの両親の関わり方はどの程度良いものですか。あてはまるものを1つお知らせください。

表 20 両親の関与への感覚 (単位：人)

かなり良い	6	7.0%
まあまあ良い	47	54.6%
どちらとも言えない	14	16.3%
あまり良くない	9	10.5%
まったく良くない	10	11.6%

(n=86)

⑳あなたの就職希望度は次のうちどちらですか。

表 21 就職希望の程度 (単位：人)

なにがなんでも就職したい	63	73.3%
希望する就職先に決まらなければ、就職しなくともよい	23	26.7%

(n=86)

㉑(㉑で「希望する就職先に決まらなければ、就職しなくともよい」と回答した人に伺います)就職しなかった時の進路はどうしますか。1つだけ選んでください。

表 22 就職しなかった場合の進路 (単位：人)

進学 (留学、大学院進学)	6	26.1%
卒業して次年度就職活動する	13	56.5%
フリーター	3	13.0%
就職留年	1	4.4%
起業	0	0.0%

(n=23)

②あなたは将来就職して3年以内に、どの程度転職があるだろうと予想していますか。あてはまるものを1つお知らせください。

表 23 3年以内の転職予想 (単位：人)

かなりあるだろうと思う	5	5.8%
あるかもしれないと思う	42	48.8%
たぶんないだろうと思う	28	32.6%
まったくないと思う	7	8.1%
そんなことは考えたことがない	4	4.7%

(n=86)

③仕事にもいろいろありますが、あなたはどんな仕事が理想的だと思いますか。1番理想的だと思う仕事と、2番目にそう思う仕事をそれぞれ1つずつお知らせください。

表 24 理想的な仕事 (単位：人)

	1番理想だと思う仕事		2番目に理想だと思う仕事	
	人数	割合	人数	割合
働く時間が短い仕事	3	3.9%	5	6.7%
失業の心配のない仕事	2	2.6%	5	6.7%
健康をそこなう心配がない仕事	4	5.2%	3	4.0%
高い収入が得られる仕事	24	31.2%	29	38.7%
仲間と楽しく働ける仕事	10	13.0%	10	13.3%
責任者として、采配が振るえる仕事	2	2.6%	3	4.0%
独立して、人に気がねなくやれる仕事	8	10.4%	4	5.3%
専門知識や特技を活かせる仕事	20	25.9%	12	16.0%
世の中からもてはやされる仕事	1	1.3%	1	1.3%
世の中のためになる仕事	0	0.0%	2	2.7%
その他	2	2.6%	0	0.0%
わからない	1	1.3%	1	1.3%

(1番理想 n=77, 2番理想 n=75)

④仕事についてあなたの考えや希望についてお聞きします。

表 25 仕事についての考えや希望

(単位：人)

	そう思う		ややそう 思う		あまりそう 思わない		そう 思わない		n
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
仕事を生きがいとしたい	32	38.1%	36	42.8%	15	17.9%	1	1.2%	84
おもしろい仕事であれば、収入が少なくてもかまわない	15	17.4%	34	39.5%	33	38.4%	4	4.7%	86
どこでも通用する専門技能を身につけたい	31	36.5%	33	38.8%	19	22.4%	2	2.3%	85
いずれリストラされるのではないかと不安だ	14	16.9%	27	32.5%	35	42.2%	7	8.4%	83
いずれ会社が倒産したり破綻したりするのではないかと不安だ	11	13.1%	39	46.4%	28	33.3%	6	7.2%	84
仕事をしていくうえで人間関係に不安を感じる	12	14.3%	35	41.7%	34	40.5%	3	3.5%	84
仕事を通じて人間関係を広げていきたい	39	45.9%	34	40.0%	11	12.9%	1	1.2%	85
仕事はお金を稼ぐための手段であって、面白いものではない	14	16.5%	22	25.9%	32	37.6%	17	20.0%	85
高い役職につくために、少々の苦労はしてもがんばる	37	44.1%	38	45.2%	7	8.3%	2	2.4%	84
職場の同僚、上司、部下などとは勤務時間以外はつきあいたくない	8	9.5%	29	34.5%	36	42.9%	11	13.1%	84
職場の上司、同僚が残業していても、自分の仕事が終わったら帰る	19	22.9%	32	38.6%	24	28.9%	8	9.6%	83
できることなら終身雇用（無期雇用）で働きたい	20	23.8%	38	45.3%	20	23.8%	6	7.1%	84
社会や人から感謝される仕事がしたい	21	25.0%	40	47.6%	17	20.3%	6	7.1%	84

㊤あなたが企業選択をする場合、どのような企業がよいと思いますか。2つ選択してください。

表 26 企業選択の基準 (単位：人)

安定している会社	18	20.9%
これから伸びそうな会社	6	7.0%
給料の良い会社	34	39.5%
自分のやりたい仕事（職種）ができる会社	18	20.9%
有名な会社	4	4.7%
休日、休暇の多い会社	3	3.5%
勤務制度、住宅など福利厚生の良い会社	9	10.5%
転勤のない会社	4	4.7%
海外で活躍できそうな会社	17	19.8%
いろいろな職種を経験できる会社	8	9.3%
自分の能力・専門を活かせる会社	22	25.6%
大学・男女差別のない会社	3	3.5%
若手が活躍できる会社	5	5.8%
事業を多角化している会社	1	1.2%
働きがいのある会社	4	4.7%
志望業種の会社	7	8.1%
親しみのある会社	5	5.8%
社風が良い会社	1	1.2%
一生続けられる会社	1	1.2%
研修制度のしっかりしている会社	2	2.3%

(n=86)

②6現時点での志望職種は何ですか。第1希望をひとつだけ選んでください。

表 27 志望職種 (単位：人)

総務・経理・人事などの管理部門	9	10.5%
営業企画・営業部門	15	17.4%
商品企画・開発・設計部門	8	9.3%
広報・宣伝部門	5	5.8%
海外営業などの海外事業部門	14	16.3%
研究・開発部門	3	3.5%
調査・企画部門	0	0.0%
製造技術・生産管理部門	4	4.6%
情報システム部門	4	4.6%
技術サービス部門	1	1.2%
教師・教員	12	14.0%
国家公務員・地方公務員	1	1.2%
その他	10	11.6%

(n=86)

②7あなたの海外志向について最も近いものはどれですか。

表 28 海外志向 (単位：人)

海外勤務はしたくない	5	6.2%
希望する勤務地なら海外で勤務したい	31	38.3%
やりたい仕事があるので海外で勤務したい	33	40.7%
仕事内容に関わらず海外で勤務したい	12	14.8%

(n=81)

㊸就職活動（面接や提出書類の記述内容）において、あなたが企業にアピールしたい強み・セールスポイントは何ですか。1 番アピールしたいことと、2 番目にアピールしたいことをそれぞれ1 つずつお知らせください。

表 29 企業にアピールしたい強み・セールスポイント（単位：人）

	1 番アピールしたいこと		2 番目にアピールしたいこと	
	人数	割合	人数	割合
人間関係能力	14	18.9%	8	11.0%
自己統制能力	10	13.5%	5	6.9%
問題発見・解決能力	14	18.9%	14	19.2%
論理的思考能力	2	2.7%	3	4.1%
達成意欲	4	5.4%	5	6.9%
自信	7	9.5%	16	21.9%
大学名	2	2.7%	0	0.0%
大学での専攻	4	5.4%	2	2.7%
専門的知識・技術	8	10.8%	8	11.0%
就業経験	0	0.0%	1	1.3%
職業資格	2	2.7%	0	0.0%
IT スキル	2	2.7%	2	2.7%
語学力	5	6.8%	9	12.3%

(1 番アピールしたいこと n=74、2 番目にアピールしたいこと n=73)

㊹あなたはどの国の企業や団体（学校を含む）などで働きたいですか。

表 30 働きたい国

(単位：人)

	進んで働きたい		働いてもよい		働きたくない		n
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
アメリカ企業	35	41.2%	37	43.5%	13	15.3%	85
ヨーロッパ企業	42	50.0%	31	36.9%	11	13.1%	84
中国企業	3	3.6%	14	16.7%	67	79.7%	84
韓国企業	13	15.5%	37	44.0%	34	40.5%	84
日本企業	52	61.2%	30	35.3%	3	3.5%	85
自国企業	28	36.4%	42	54.5%	7	9.1%	77

⑩日本企業に対するイメージとしてあてはまるものを選んでください。

表 31 日本企業に対するイメージ

(単位：人)

	あてはまる		ややあてはまる		あまりあてはまらない		あてはまらない		わからない		n
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
長期的な視野で仕事のスキルやノウハウを学べる	25	29.4%	42	49.4%	8	9.4%	1	1.2%	9	10.6%	85
自分の専門性を活かせる	39	46.4%	28	33.3%	8	9.5%	5	6.0%	4	4.8%	84
経営陣が信用できる	19	22.6%	40	47.6%	13	15.5%	3	3.6%	9	10.7%	84
将来のキャリアパスを描くことができる	19	22.3%	35	41.2%	20	23.5%	2	2.4%	9	10.6%	85
高い報酬がもらえる	20	23.5%	37	43.5%	15	17.7%	3	3.5%	10	11.8%	85

⑪デートの約束があった時、残業を命じられたら、あなたはどうしますか。

表 32 デート or 残業

(単位：人)

デートをやめて仕事をする	45	52.9%
断ってデートをする	40	47.1%

(n=85)

⑫給与の決め方（給与体系）について、あなたはどちらの体系がのぞましいと思いますか。

表 33 望ましい給与体系

(単位：人)

各人の業績や能力が大きく影響する給与体系	53	61.6%
業績や能力ではなく、年齢経験により給与が上がる体系	24	27.9%
どちらともいえない	9	10.5%

(n=86)

⑬あなたのいろいろな考えや経験についておたずねします。

表 34 考え方や経験

(単位：人)

	そう思う		ややそう思う		あまりそう思わない		そう思わない		n
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
家庭生活において、男性も家事や育児を分担すべきである	33	38.4%	30	34.9%	19	22.1%	4	4.6%	86
収入は主に夫が稼ぐべきである	16	18.8%	26	30.6%	28	32.9%	15	17.7%	85
女性は結婚したら家庭に入った方がいい	5	5.9%	24	28.2%	26	30.6%	30	35.3%	85
たとえ経済的に恵まれなくても、気ままに楽しく暮らすほうがいい	14	16.3%	37	43.0%	28	32.6%	7	8.1%	86
あまり収入がよくなくても、やりがいのある仕事がしたい	20	23.3%	28	32.5%	30	34.9%	8	9.3%	86
世の中は、いろいろな面で、今よりもよくなっていくだろう	23	26.7%	35	40.7%	25	29.1%	3	3.5%	86
世の中は、いろいろな面で、今よりも昔のほうがよかった	15	17.4%	29	33.7%	31	36.1%	11	12.8%	86
自分はいい時代に生まれたと思う	24	27.9%	42	48.8%	16	18.6%	4	4.7%	86
冒険をして大きな失敗をするよりも、堅実な生き方をするほうがいい	17	20.3%	43	51.2%	18	21.4%	6	7.1%	84
将来の幸福のために、今は我慢が必要だ	30	34.9%	33	38.4%	15	17.4%	8	9.3%	86
他人にはどう思われようとも、自分らしく生きたい	35	40.7%	38	44.2%	9	10.5%	4	4.6%	86